

令和3年度 調布市立深大寺小学校 授業改善推進プラン

学校の教育目標	
よく考えすすんで学ぶ子 健康で明るい子 やさしく思いやりのある子 ねばり強くやりぬく子	
目指す学校像(ビジョン) 例)学校像, 教員像, 児童・生徒像	
地域の学校として地域とともに歩む学校 「子供の数は命の数・心の数」であるという認識をもった教員 社会規範を身につけた児童	
ビジョンの設定理由 (本校の現状と課題)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 伝統校であり, 地域の教育力に満ちている学校であること。 ・ 人とのつながりを大切にする児童を育成するには最適な教育環境にあること。

教科	目指す学校像(ビジョン)を基にした 育成したい資質・能力	資質・能力を育成するための具体的取組
国 語	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常生活における人との関わりの中で伝え合う力。 ・ 言葉がもつよさを認識し, 言語感覚を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の思いをもつことを大切に, 相手に分かりやすく表現できるようにする。 ・ 語句の量を増やし, 話や文章の中で使うとともに, 語彙を豊かにする。
社 会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童が主体的に課題を見付け, 対話的に学び問題解決していく能力。 ・ 児童が社会認識をより深め, 参画への意識を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主体的に思考できる導入の工夫を行い, 自分たちが設定した学習問題に対して解決していくための見通しをもった計画を立てる。 ・ 自分たちが暮らしている深大寺という地域の特色を生かした学習を各単元に取り入れていく。
算 数	<ul style="list-style-type: none"> ・ 絵や図, 数式を使って自分の考えを表現し, 説明できる力。 ・ 基礎的・基本的な事項の定着と, 自己の課題を見出して問題を解決する力。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ICTの活用や, 具体物・半具体物, 体験学習など実感を伴った学習の工夫をする。 ・ 習熟度別少人数指導の実施や, 実態に合った教材・教具の工夫により, きめ細やかな指導をする。
理 科	<ul style="list-style-type: none"> ・ 問題を見出し, 解決方法を発想するとともに自分の考えを伝え合い, 感じたことを表現する力。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観察や実験を充実させ, 生活経験と結び付けたり, 比較したりすることで, 問題を見だし, 予想や仮説を立てられるようにする。 ・ 自分なりの予想や問題解決方法, 感じたことを表現できるようにする。
生 活	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身近な自然や地域に関わる活動を通して, そこから得た様々な気づきを工夫して表現する力 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身近な人々, 社会, 自然との関わる中での体験や調べたこと等を伝え合う場を広く設定し, 友達の考えと自分の情報とを比べたり, 意味を考えたり, 新たな気づきを得たりする機会を多くもつようにする。
音 楽	<ul style="list-style-type: none"> ・ 協働して創りあげる能力。 ・ 日本の伝統音楽を親しむ心。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 互いのよさを認め合う活動や思いをもたせる場面を多く設定する。 ・ お囃子づくりや和楽器に触れる機会を多くもち, そのよさを感じ取らせる。
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> ・ 造形的な見方, 考え方を働かせ, 生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質や能力。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一人ひとりの児童が特性を生かした活動ができるようにする為, 学習活動や表現方法, 鑑賞の場面設定等に幅をもたせる。 ・ 児童が, 自分や友達, 身近な作品などの良さを感じ, 感性を高められるように, 自分の思いをもつことを大切にすると共に, 表現活動と鑑賞活動の一体化を図る。

<p>家庭</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、実践を通して課題を解決する力。 ・家庭や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として生活をよりよくしようと工夫する実践的な知識や技能。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「発見」「計画」「実践」「整理」の4段階の学習過程で構成し、基礎的な知識・技能の習得を個々の作業につなげる。 ・思考・判断力を広げるワークシートや資料、技能の向上に役立つ体験的な教材の工夫で、習得した内容等を家庭や地域で実践につなげる力を引き出し、力をつける。
<p>体育</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運動や健康についての自己の課題を見付け、その課題に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元において振り返りの時間を設定する。友達との学び合いの中から課題解決につながる学習計画を立てる。 ・導入時にその学習のねらいや流れの見通しをもたせ、運動の特性から、個人やグループの課題（目標・活動内容）をもち、その課題を解決していく学習を基本とする。
<p>外国語</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「聞くこと」、「話すこと [やり取り]」、「話すこと [発表]」の音声面を中心とした外国語を用いてコミュニケーションを図る力。 	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な語句や基本的な表現を十分に音声で慣れ親しませる。 ・チャンツやゲーム的な活動を通して外国語に親しみながら、コミュニケーションを図れるようにする。
<p>道徳科</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分でやろうと決めたことを、粘り強くやり遂げる力。 ・郷土の伝統と文化を大切に、郷土を愛する心をもつこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習や生活の目標を具体的に決め、定期的に振り返る。達成状況を確認したり、新たな課題を見付けたりすることを通して、よりよい自分を目指していくようにする。 ・日々の生活の中で、郷土とのつながりを意識させていく。
<p>外国語活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「聞くこと」、「話すこと [やり取り]」、「話すこと [発表]」、「読むこと」、「書くこと」の言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力。 	<ul style="list-style-type: none"> ・英語の文字や単語などの認識、日本語と英語の音声の違いやそれぞれの特徴への気付かせるようにしていく。 ・自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に書くことができるようにしていく。